

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯築・道後地区)

| | 意見内容 | 現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由 | 担当部局 |
|---|---|---|------|
| 1 | <p>にぎたつの道沿いはマンションが多く、ペットボトル、ふたが分別できていないと、収集してくれず、地区の役員が片づけなければならない。ごみ分別について緩和していただけないか。</p> <p>また、学生が多く、夜中に捨てている。そうすると観光客も捨ててしまう。</p> | <p>日々のごみ分別等、限りある資源の再生利用を促進することは、循環型社会を構築していく上で非常に重要です。松山市では、少しでも多くの資源ごみをリサイクルするとともに、ごみを収集する経費に充てるため、平成23年4月から分別方法を変更し、これまで収集した後に人の手で分別してリサイクルしていた「プラマーク」のものと「ペットボトル本体」を別々に収集することにしました。ペットボトルは「リサイクルの優等生」とも呼ばれ、卵パックやネクタイ、作業服等の高品質な製品にリサイクルされるなど、ペットボトル本体のみの収集は再資源化に特に効果的です。今後、現在、定着している分別方法を継続していきたいと考えています。</p> <p>学生に対するごみ出しマナーの啓発については、毎年、各大学で実施しているごみ分別説明会で新入生にチラシの配布等を行うとともに、不動産業者や家主に対しては管理者責任として、居住の学生等へごみの適正排出の周知徹底を図るよう、強く要請をしています。</p> <p>松山市では正しいごみ分別の啓発のため、ペットボトルの出し方を示した掲示物や不法投棄防止のための啓発看板などを提供しています。また、改善が進まないごみ集積場については、地域の皆さんと改善策を検討したいと考えていますので、清掃課までご相談ください。</p> | 環境部 |
| 2 | <p>高齢者、単身世帯が多く町内会長をやる人が限られている。町内会について見直していただき、町内会活動が活発にできるようにしてほしい。</p> | <p>町内会は、住民がコミュニティ活動を通じて親睦を図ったり、互いに助け合ったりするためにつくられた自治組織であり、豊かで暮らしやすい地域づくりのためには、町内会活動は重要なものと考えています。</p> <p>今年度から、自立した地域づくりを推進する観点から広報委員制度を見直し、町内会などの地域団体が行う防犯・社会福祉・環境美化活動など、住民の皆さんが相互扶助のもと行う身近な地域活動を支援する「地域協働活動応援事業」に移行しました。</p> <p>具体的に道後地区においては、「道後地区町内会連合会」、湯築地区においては「湯築地区自治会連絡協議会」を通じて地域活動の運営支援や財政支援を行うほか、地域活動中の事故災害に備えた保険制度の整備や町内会加入促進事業を行っています。</p> <p>そのほか、町内会における問題等についても市民参画まちづくり課までお気軽にご相談ください。</p> | 市民部 |

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯築・道後地区)

| | 意見内容 | 現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由 | 担当部局 |
|---|---|--|------------------------------|
| 3 | <p>伝統文化芸能保存として奴踊りと獅子舞を主体にやっているが、子どもたちが集まらず、後継者が問題、また、修理等お金が足りない状況である。 伝統文化を守り、発展させる上で何か支援はないのか。</p> | <p>伝統文化や伝統芸能、祭りなどの民俗文化は、これまで各地域で継承されてきましたが、それらを継承してきた各団体が、後継者不足の問題に直面しています。特に島しょ部や中山間部では、少子高齢化の急速な進行とともに若者や子供の流出が進み、後継者になるべき人材が地域にいないのが現状です。 そうした中、松山市としても地域の伝統文化の継承発展について、できる限りの支援をしていきたいと考えています。民俗芸能の保存伝承、後継者の育成等については、文化財保護法や条例に基づき、指定された無形民俗文化財の保存団体等に対し運営補助を行っていますので、教育委員会事務局文化財課までご相談ください。また、地域の伝統文化の継承発展については、一般財団法人自治総合センターによる助成制度の窓口が、市民参画まちづくり課となっています。</p> | <p>教育委員会 事務局 市民部</p> |
| 4 | <p>道後温泉本館建設など5つの偉業を成し遂げた伊佐庭如矢の顕彰がなされていない。どのような顕彰を考えているのか。</p> | <p>道後湯之町 初代町長 伊佐庭如矢の顕彰については、平成24年に伊佐庭如矢実行委員会を立ち上げ、平成25年2月には、子規記念博物館において伊佐庭如矢の功績をたたえた企画展やシンポジウムを開催し、道後温泉の活性化に繋げています。 さらに、伊佐庭如矢の功績をまとめたDVDや絵本、冊子等を作成し、市内の小中学校や観光業者等に配布し広く周知を図っています。また、道後観月祭や道後温泉まつり開催時の紹介や、子規記念博物館・松山城ロープウェイ東雲口駅舎2階 観光交流ホールでのパネル展やオリジナル紙芝居、坊っちゃん劇場の役者によるミュージカル「道後湯の里」のPRパフォーマンスなど、伊佐庭如矢の功績を市民の皆さんをはじめ、市外県外の方にも広くPRを行っています。(ミュージカル「道後湯の里」は、4月11日から11月14日まで坊っちゃん劇場で公演しています。)</p> | <p>産業経済部</p> |

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯築・道後地区)

| | 意見内容 | 現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由 | 担当部局 |
|---|--|--|-------|
| 5 | <p>松山大学の一般教養講座の野外研修が中止になったのはなぜか。</p> | <p>松山大学公開講座は、松山大学と(公財)松山市文化・スポーツ振興財団との連携事業で、市民の文化活動の向上や生きがいを目的に、毎年、一般教養講座やデジタル講座などが多彩な講師陣により開催されています。</p> <p>一般教養講座の野外研修は、参加者が少なく、平成24年度に一時中止されましたが、存続を望む声などもあったことから、平成25年度から再開し、しまなみ海道での一日研修に約50名の方が参加されました。</p> <p>野外研修の詳細については、実施主体である松山大学経営企画部社会連携室(926-8246)までにお問い合わせいただけたらと思います。</p> | 総合政策部 |
| 6 | <p>外国人観光客のボランティアガイドをしているが、外国人はあまり温泉には入りたがらない。日本庭園を見たい外国人は多く、道後地区に日本庭園的なものがほしいと思う。放生園に日影がない、木を植えて木陰をつくれればいいと思う。</p> | <p>松山市には、庚申庵史跡庭園や二之丸史跡庭園などがあり、外国人観光客の方にも好評を得ています。松山市が道後地区に日本庭園を造ることは、現在の厳しい財政状況や長年に亘る維持管理の費用を考えますと難しい状況ですが、道後のホテルや旅館の中には、日本庭園を自由に散策できるところもあるほか、湯築城跡や子規記念博物館等、日本文化に触れられる施設もありますので、そちらをご利用いただければと思います。そのほか、「道後オンセナート2014」の作品で、デザイナー石川智一さんによる日本庭園ライトアップイベントも開催中ですので、こうした今ある観光資源を活用しながら、さらなる道後の魅力を高めていきたいと考えています。</p> <p>また、放生園の日影については、道後地区の景観に配慮したまちづくりを行っている中で、足湯のベンチのところに風景にとけ込んだ番傘を設置しています。放生園の横には観光案内所もありますので、暑い時期に直射日光などでお困りでしたらこちらもご利用いただけたらと思います。</p> | 産業経済部 |

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯築・道後地区)

| | 意見内容 | 現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由 | 担当部局 |
|---|--|---|--------------|
| 7 | 道後公民館は3階が講義室であり、足の悪い方、高齢者がいけない。エレベーターを設置してほしい。トイレを男女別にしてほしい。 | <p>エレベーターの設置については、現在、計画的に実施している公民館の耐震化工事終了後、地域の要望と財政負担のバランスを考えながら、設置スペースの確保や構造上の問題等、一定の条件が整う館から、大規模改修工事等にあわせて検討したいと考えています。</p> <p>トイレの男女別化については、道後公民館長から工事依頼の申請をいただいていますので、先日、現地調査を行い、今年度中の工事完成を目指し、現在調整中です。</p> <p>なお、2階のトイレについては男女別化を実施する予定ですが、3階のトイレはスペースの問題があり男女別化ができない状況ですので、間仕切りの変更や和式から洋式へ改修することで、利便性の向上を図りたいと考えています。</p> | 教育委員会 事務局 |
| 8 | 湯築小学校PTAで危険箇所等伝えているが予算の関係でなかなか対策をしてくれない。 | <p>湯築小学校区で実施した緊急合同点検箇所について、</p> <p>①通行量の多い学校近くの交差点には、押ボタン式信号機が平成24年9月に設置されました。</p> <p>②護国神社前の狭い道路について、横を流れる川に張り出して歩道を設置することは構造上認められなかったため、平成26年5月に警察や学校関係者と合同で再度、現地を立会し、時間制による通行規制等の対策について検討しました。通行規制についての警察の見解は、地域の状況等を総合的に判断すると、規制をかけることは難しいという結論でしたが、車の交通量が多く、児童にとって危険な場所ですので、ドライバーの視認性を高めるため、すぐにグリーンベルトを引く対策を実施しました。</p> <p>③今市北郵政宿舎南東の見通しの悪い交差点は、平成25年3月にカーブミラーと交差点マークを設置しました。</p> <p>④車の交通量が多く、道路が狭くて歩道もない箇所については、歩道の設置を計画し、検討しています。</p> <p>今後も地域の方々や警察・学校関係者等と連携して、児童の安全を確保するため取り組んでいきたいと考えています。</p> | 教育委員会 事務局 |

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯築・道後地区)

| | 意見内容 | 現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由 | 担当部局 |
|----|---|---|-------|
| 9 | <p>県道六軒家石手線のホテル八千代から西のところは離合できない、また、松ヶ枝町に上るところなど、たくさんあると思う。電柱を裏通りに移設できれば景観もよくなるし、いいと思う。</p> | <p>愛媛県が管理している県道六軒家石手線の『ホテル八千代』から西の整備について、ご要望いただいた内容を、再度、愛媛県道路維持課にお伝えしました。</p> <p>平成26年8月14日に、「愛媛県では、安全で快適な道づくりを目指しているところですが、ご意見のあった県道六軒家石手線(ホテル八千代より西側)については、最も狭い箇所でも道路幅は5mあり、緊急車両同士の離合が可能であることを確認しています。また、沿線には営業中の店舗等が建ち並び、用地買収等には地元の協力が不可欠であると認識しています。このため、道路を拡幅することは、当面、困難であると考えております。」との回答をいただきました。</p> <p>また、松ヶ枝町に上るところについては、H25年9月に北側の交差点改良の要望書をいただきましたので、松山市で※隅切りを実施して消防車がスムーズに通れるよう測量設計を進めています。今年度は、用地買収や建物の移転補償の交渉を予定しています。</p> <p>電柱の裏通りへの移設については、四国電力とNTTに問い合わせしましたが、現状では移設は難しい、との回答でした。</p> <p>※隅切りとは、車両が安全・円滑に通行できるように道路隅部を円弧(円周の一部)や直線でカットすること。</p> | 都市整備部 |
| 10 | <p>JA道後支所からひめぎんホールに至る道(市道道後66号線)は水路もあり危ない。いっそのこと通行許可制にしたら安心して通れると思う。</p> | <p>市道の改良等による生活道路の整備については、日常生活や救急活動を行う上で重要な役割を果たす道路事業として、松山市としても積極的に進めていきたいと考えています。生活道路を拡幅するには、水路にふたをしたり、道路に接する土地を提供していただく方法がありますが、事業の実施には、沿線の土地所有者や町内会、必要に応じて土地改良区などの関係機関の同意が必要になりますので、地元の関係者の皆さんで話し合いを行っていただけたらと思います。地域として意見の集約ができ、地権者の同意が得られましたら、松山市に要望書をご提出いただきたいと思います。</p> <p>また、一方通行や車両規制等の交通規制についても、地元の皆さんの意見が集約できましたら、地元から松山東警察署へ要望し、公安委員会が検討することになりますので、地元の皆さんでご検討ください。</p> <p>なお、ご意見をいただいた市道の水路が危険な箇所の一部については、平成26年3月に防護柵を設置する安全対策を行いました。</p> | 都市整備部 |

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯築・道後地区)

| | 意見内容 | 現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由 | 担当部局 |
|----|--|--|----------------------|
| 11 | <p>どこの自治体も厳しい財政状況にあるということだが、どうやって乗り越えていこうとしているのか、それがわかればそれぞれ努力の仕方もあると思う。</p> | <p>本格的な人口減少社会の到来と少子高齢化の急速な進行により増加する社会保障関係費等の対応は、もはや一自治体の自助努力の範囲を超えており、国における抜本的な制度改革が必要であると考えています。</p> <p>さらに景気回復の実感に乏しい地方では税収の増加が期待できないことから、財政状況は今後一層厳しくなるものと想定され、こうした状況のもと、持続可能な行財政運営を進めていくためには、不断の行財政改革に取り組み、市民ニーズに適応した市民参加型、あるいは地域を中心としたまちづくりを進めていくとともに、これまで以上に徹底したコスト意識と時代の変化に対応できる経営感覚を取り入れた効率的な行財政運営に努めていきたいと考えています。</p> <p>また、松山市では、平成25年度から10年間の新たな総合計画を策定し、目指す将来像「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」を掲げ、総合的かつ計画的なまちづくりを進めています。この総合計画は、市民意識調査をはじめ、市民意見交換会や有識者ヒアリング、審議会などから多くの市民の貴重なご意見をいただき策定しましたので、今後、市民の皆さんとこの計画を着実に実行していくことで、市民の皆さんが自分たちの住むまちに愛着や誇りをもち、また、市外の人からは、「行ってみたい」「住みたい」と思われる魅力あふれるまちになると考えています。</p> | <p>理財部 総合政策部</p> |